

移動に関する課題について

平成30年度の重点項目

- ・ 移動に関する課題の検討体制を見直す

活動概要

<p>29年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会として移動に関する課題を積み上げ、札幌市との意見交換も重ねてきた結果、市地域生活支援事業の移動支援の対象に「難病者(児)」が加わった。 ・ 新『さっぽろ障がい者プラン』の中に、移動に関する全市的検討会の設置を項目として盛り込むよう、自立支援協議会として意見をあげた。その結果、プラン内の「横断的分野2 生活環境の整備」にある「社会のあらゆる場面で、アクセシビリティ(利用のしやすさ)の向上に努めていく必要があります」という表現に移動の課題も含まれるということが確認された。また、全市的な会議としては「福祉のまちづくりの推進会議」があるため、新たな会議体の設置は難しいということになったが、自立支援協議会として積み上げてきた移動の課題のうち、「福祉のまちづくりの推進会議」で検討ができそうな事柄についても札幌市に検討していただいた。しかし、同会議の性質上難しさもあり、今後同会議への自立支援協議会からの代表委員の参加の要望も含め、意見を出し続けることになった。
----------------------	---

<p>ねんど 30年度</p> <p>かつどうよてい 活動予定</p>	<p>うんえいかいぎない いどう かん かだい けんとうたいせい みなお ・ 運営会議内に移動に関する課題の検討体制を見直すワーキンググループ</p> <p>をおき、ねん 1年をかけてけんとうたいせい さいこうちく の再構築をはかる。</p>
---	---

かだい がいよう 課題の概要

<p>ねんど ・ 2016年度からは移動支援事業において全身性障がいの対象要件が拡大するなど、</p> <p>じょじょ せいど みなお いぜん つうしょ いどうしえん しく 徐々に制度の見直しははかれてきたが、依然として通所のための移動支援の仕組み</p> <p>うんてんしゆ か ぼあい さんてい しんたいかいご う む ほうしゅうたんか がないこと、ヘルパーが運転手を兼ねる場合の算定、身体介護の有無による報酬単価</p> <p>ちが げんじょう の違いなどにより、サービスが不足している現状がある。</p> <p>きそん せいど みなお げんかい かんてん しょう ふくしぶんやいがい ・ 既存の制度の見直しには限界があり、まちづくりの観点からも、障がい福祉分野以外</p> <p>じぎょうしゃ こじん みんかんきぎょう さんかく ぜんしてき と く たいせい ひつよう の事業者・個人や民間企業などの参画もはかり、全市的に取り組む体制が必要だが、</p> <p>いま 未だできていない。</p>

かだいかいけつ む ほうこうせい 課題解決に向けた方向性

<p>かだい ぶんやおうだんてき かだい みなお ひつよう ・ 課題が分野横断的であるため、課題へのアプローチを見直す必要がある。</p> <p>ふくし すいしんかいぎ たい いけん ていしゆつ じき しょう しょう しゃ ・ 「福祉のまちづくりの推進会議」に対する意見の提出や次期「さっぽろ障がい者プ</p> <p>らシ」の見直しにおけるていげん しゃ かだい けんとうたいせい みなお の提言を視野に、課題の検討体制を見直す。</p>

かつどうきげん もくひょう 活動期限とそれまでの目標

<p>かだい けんとうたいせい さいこうちく ねんどちゅう おこな ・ 課題の検討体制の再構築を2018年度中に行う。</p>
